

第4回 5月15日の講義内容

- § 3-1. 社会調査の設計
 - 調査テーマの設定
 - 問題意識の明確化
 - 作業仮説の定式化(検証タイプ)
 - 現象の定式化(発見タイプ)
 - 調査対象の確定
 - 調査方法の決定

5/15/02 1

調査テーマの設定

- 調査テーマの設定
 - まず、問題意識ありき。
 - 何が問題なのか、何を知りたいのか、を明確にする。
- 調査結果の認識、解釈が目的。
 - (注) 調査すること自体が目的ではない。
- 調査票調査が妥当なケース
 - 集団の(平均的な)性質が主たる関心の場合

5/15/02 2

問題意識の明確化

- 問題を作業仮説(仮のモデル)に移し替えるプロセス。
 - 同様の問題を扱った先行研究のレビュー
 - (検証タイプの調査)問題を把握する枠組(理論モデル)・世界観の選択
 - (発見タイプの調査)問題と関連する諸現象の整理・分類
 - 問題の整理 図式化

5/15/02 3

作業仮説の定式化(検証タイプ)

- 理論モデルと操作モデルの擦りあわせ。(翻訳作業)
- 操作モデルを検証可能な形に整理・書替え。(モデルの具体化)
- 操作モデル相互間の関係を整理
- 操作モデル 質問文 対応づけ

5/15/02

4

現象の定式化(発見タイプ)

- 質問文 操作モデル 対応づけ
- 操作モデル相互間の関係を整理
- 操作モデルから帰納的に一般化される言明(モデル)を提示。
- 一般化モデルから推測される理論モデルを提示。

5/15/02

5

調査対象の確定

- 属性、特性を画定
 - 年齢、性別、職業、学歴、地域、等々
- 比較対象群(controlled group)の設定
 - 作業仮説の検証のため
- 調査対象の全体 / 部分
 - 悉皆調査(全数調査)
 - 標本調査 サンプルング

5/15/02

6

調査方法の決定

- 調査票調査
 - 集団の平均的特性の調査に優れる
 - 画一的
- 質的調査
 - インタビュー
 - 参与観察
 - etc.

5/15/02 7
